

誘拐等を装った振り込め詐欺的事件の多発について

1. 事件の概要 児童の家にきた電話は、「子どもを誘拐した。金を出せ。」等の内容で、電話の背後で子どもの泣き声や助けを呼ぶ声が聞こえていることもあった。学校に確かめる等の返事すると、子どもに危害を加えるなどと脅迫された。要求する金額は、200万円とか、1,000万円とか、それぞれである。どのケースも実際に確かめると児童は学校にいて無事であった。

また、小学校教諭へは、勤務先の小学校に配偶者の上司を名乗る男から電話があり、同じく教員である配偶者に不祥事があったので、その示談金として金が必要との連絡を受けたが、配偶者の職場に確認したところ、そうした事実はなかった。

2. 被害状況 いずれも未遂

10月 6日(木) 3年生女子の家
10月26日(水) 5年生女子の家
10月27日(木) 4年生女子の家
10月28日(金) 小学校教諭へ
10月31日(月) 4年生男子の家
10月31日(月) 3年生男子の家

3. 市教委及び学校の対応

十月に入って、市内の小学校で、誘拐等を装った「振り込め詐欺」の事件が頻発していることを受け、いずれも未遂に終わっているが、巧妙なうえ、家人を脅迫するような悪質なケースもあることから、市教委では、犯罪として警察に届け出るように対応の仕方などをまとめた通知を2度にわたり出して注意を呼びかけた。また、11月2日に記者クラブへ情報を提供した。

これを受け各学校では、通知を出したり学校だよりなどで保護者に周知している。

学校長

学校教育課長

誘拐を装った悪質な脅迫電話（振り込め詐欺）について（通知）

このことについて、市内小学校及び近隣地区の中学校でも、以下のような事件がありましたので通知します。

つきましては、各学校におかれまして、職員及び保護者に事件の概要を周知するとともに、次のようなことに留意して対応するようお願いいたします。

発生日時	事件の概要
市内小学校 10月 6日(木) 午後1時20分頃	市内女子児童の自宅に男性の声で「娘を誘拐した。一千万円を用意しろ。用意できなければ娘を殺す」などと脅迫電話が入り、約1時間に渡り通話。その間に、保護者の携帯電話で学校に連絡、女児の無事を確認。そのことを伝えると、男性は「警察には言うな」など脅しをかけ、電話を切った。
近隣地区中学校 9月28日(水) 午後1時00分頃	近隣地区の女子中学生の自宅にその女生徒を装った声で「車に連れ込まれちゃった」と電話が入った。電話に出た母親に、電話を代わった男が「娘を預かった。学校と警察には言うな。五百万円を用意しろ」などと話し、母親の携帯電話の番号を聞き出した。直ぐに携帯電話にかけ直し、約2時間に渡り通話。指定の口座に現金を振り込むまで話し続けた。解放する予定の場所に男が現れなかったことから、同級生の母親に相談し、学校にいることが分かった。

【保護者の対応の留意点】

- 1 落ち着いて対応し、子どもの所在確認を最優先する。
- 2 相手のペースに巻き込まれないよう、会話を一時中断する。
- 3 直ちに所轄の警察に相談するとともに、学校にも連絡する。

【学校の留意点】

- 1 出欠席や遅刻、早退者の確認と所在の把握。
- 2 登下校の安全指導の徹底。

以 上
(担当 上 條)
25 - 1111
内線 5222

[文書分類 6302]
2005年10月27日

学校長

学校教育課長

誘拐を装った悪質脅迫電話（振り込め詐欺）の周知について（通知）

このことについては、10月11日付けで本職より通知したところですが、10月26日、27日と続けて2件市内小学校で事件が発生しております。幸いにして、学校からの保護者への周知がされていたため、冷静な対応が取られ、被害に至りませんでした。つきましては、各学校におかれまして、適切な対応を重ねてお願いします。なお、周知がこれからという学校は、早急に対応されるようお願いいたします。

【保護者の対応の留意点】

- 1 落ち着いて対応し、子どもの所在確認を最優先する。
- 2 相手のペースに巻き込まれないよう、会話を一時中断する。
- 3 直ちに所轄の警察に相談するとともに、学校にも連絡する。

【学校の留意点】

- 1 出欠席や遅刻、早退者の確認。
- 2 登下校の安全指導の徹底。

以 上
(担当 上 條)
25 - 1111
内線 5222

誘拐など装い「振り込め」

藤沢で先月 児童5人の自宅に

いずれも未遂

金を用意しろ」と脅すなど、
の手口だったという。

8月28日には、湘南地区
の40歳代の女性方に、中学

捜査している。

藤沢市警察本部 斎藤 謙
葬儀の振替

1年の長女(13)を誘拐した
という電話があり、女性が
現金500万円をなまし取
られる被害に遭っている。
このケースでは、犯人は長
女の真名を告げており、同
課では、計画的犯行とみて

藤沢市教育委員会は2日、同市内の小学生宅に、誘拐などを装った振り込め詐欺とみられる電話が10月中に5件あったと発表したが、いずれも未遂に終わった。市教委では保護者に注意を呼びかけている。

市教委によると、10月6日、市内の女子児童の自宅に男から電話があり、「娘を誘拐した。1000万円を用意しないと殺す」などと家族を脅迫。その間に別の家族が学校に連絡し娘の無事を確認した。それを伝えると、男は「警察には言うな」と言って電話を切ったという。

さらには、26、31日の間に、男女児童4人の自宅に男から「誘拐した」「預かっている」「子供が事故にあった」といった電話があり、現金500万円～1000万円

の振り込みを要求。背後で子供の泣き声や助けを求め、一娘を誘拐した。身代

金を用意しろ」と脅すなど、の手口だったという。8月28日には、湘南地区の40歳代の女性方に、中学捜査している。

藤沢市内で十月中に子供の誘拐を装った振り込め詐欺とみられる不審電話が5件あったことが3日までに分かった。同市教育委員会は「子供の所

在確認を最優先してほしい」と呼び掛けている。同市教委によると、「子供を誘拐した。金を用意しないと殺す」と保護者に迫る内容で、背後で子供らしい泣き声や助けを求め、一時中断する「な

05.11.4
湘南

「子供を誘拐」脅す

振り込め詐欺未遂多発

委掛 市呼 沢注
教呼 市呼 沢注

けを呼ぶ音が聞えるケースもあった。「学校に確認する」との返答で、「子供に危害を加える」などと脅す事例もあったという。

電話中に別の家族が携帯電話で学校に確認するなどの対応で、現在まで被害は出ていないが、同市教委は「子供の所在確認を最優先する」「会話を一時中断する」など、

(湘南総局)